

会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時40分

2 協議事項

(1) 倉吉市の不登校対策について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

平成23年度の不登校児童生徒数について、今年度は、成果を出していくために取り組みを少し変えている。早期対応、早期支援が大きな特徴。関連して中部子ども支援センターの移転について、旧河北土地区画整理事務所へ移転に向けて検討している。

委 員 月に連続して5日以上欠席があった場合、学習面のサポートを行うとあるが、具体的には。

学校教育課長 別に指導するか、特によくみるということが主になる。勉強がわからないというのはかなり大きな要素になっているので、これに対して手を打たないと支援にならない。

委 員 取り出しだったり他の方法であったり、ということだが、家から動かない場合はどうするのか。

学校教育課長 プリントを届けて、返ってきたものを添削するなどのキャッチボールを行ったり、学校に来られなくても、家で会えるようであれば、家庭訪問した際にみるなども可能。

委 員 早期対応という点で数値目標が掲げられるのは予想していたが、現場の教師や当の子どもたちに変な意味のプレッシャーが加わるようなことがあるのは困る。

子どももいろいろなタイプの子がいて、自分が受け入れられない、自分の思いが通らないということで爆発してしまう子どもがいる。苦しかったら休めばよいというような対応にしたら、少し改善されてきたような経過があり、そういう子どもをどうしても行かせるというのは難しいところがある。

対応の先生がおられたりして対応体制がとってもらえるなら良いし、早期対応してもらえるのも良いと思うが、こういったことも考えてもらいたい。

学校教育課長 子どもの特性を見極めて、対処の仕方をプロである専門家にアドバイスしてもらいたいと思っている。方法を変えればうまく受け入れることも可能だと思うので、その辺を探りたい。無理矢理行かせるのではなく、組織として、例えば生徒指導委員会や複数の教員で見極めて対処していくことが大切だと考えている。

委 員 長 委員の言われたことがひとつ、もうひとつは一般的にそういう子どもいた場合、親と学級担任だけでは出来ない。例えば児童相談所の方や子ども家庭課の方に入ってもらい、お互い情報交換をしながらやらないと行き詰まってしまう。

3 報告事項

- (1) 教育総務課 （資料に沿って説明）
 - ① 倉吉市立高城小学校河来見分校閉校について
- (2) 学校教育課 （資料に沿って説明）
 - ① 区域外就学の承認について
 - ② 不登校・問題行動の状況について
 - ③ 倉吉市小中学校一斉公開について
 - ④ 倉吉市立小・中学校適正配置等地区説明会概要
 - ⑤ 韓国江原道との教員交流事業について
 - ⑥ 学校教育審議会委員について
 - ⑦ 中部子ども支援センターの移転について
- (3) 生涯学習課 （資料に沿って説明）
 - ① 陸上競技場整備事業について
- (4) 文化財課 （資料に沿って説明）
 - ① 平成24年度第1回倉吉市伝統的建造物群保存地区保存審議会の報告について
 - ② 伯耆国庁跡ヒマワリの種まきについて
- (5) 倉吉博物館 （資料に沿って説明）
 - ① 第58回「倉吉市美術展覧会」事業実績について
 - ② 第3回自然ウォッチング「野いちごを探そう」事業報告
- (6) 倉吉市立図書館 （資料に沿って説明）
 - ① 武田美穂講演会事業報告
- (7) 倉吉市立図書館 （資料に沿って説明）
 - ① 学校給食費の収納状況について

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成24年7月24日（火）午後3時

場 所：倉吉市役所 第3会議室